

病態生理学論（高度実践）

[講義・演習] 1年・2年 選択 30時間 2単位

《担当者名》○塚本 容子 [yokot88@hoku-iryo-u.ac.jp]
山田 拓 [yamada_k@hoku-iryo-u.ac.jp]
三津橋梨絵 [mitsuhashi@hoku-iryo-u.ac.jp]
小嶋 一（客員）

【概要】

臨床現場で多く遭遇する症状・疾患（common symptoms/common diseases）に対して、アセスメント及びマネジメントを行うために求められる基礎となる病態生理学について学習する。エビデンスに基づいた医療提供を理解するために、各疾患の治療ガイドラインの背景を吟味しながら進める。また、患者の生活背景やライフステージを加味した病態生理学を理解することができる。

【学修目標】

- 1) 卓越した実践に必要な患者の症状アセスメント・マネジメントにおける、高度実践看護師の役割について理解できる。
- 2) 症状アセスメント・マネジメントに必要な病態生理学の知識とは何かを理解できる。
- 3) 臨床現場でよく遭遇する症状・疾患のアセスメントのプロセスについて、病態生理学を基盤として理解できる。
- 4) 各症状・疾患の病態機序について理解できる。
- 5) 各症状・疾患に対し、標準的治療について理解できる。
- 6) 患者の生活背景を加味した症状アセスメントを理解することができる。
- 7) 患者のQOLに考慮した、症状・疾患のマネジメントについて理解することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	高度実践看護師として必要な病態生理学の知識とは	【講義】 1) 卓越した実践のために必要な病態生理学の知識（臨床疫学、病態生理学概論） 2) 病態生理学の知識と症状アセスメントモデル、及び症状アセスメント・マネジメントにおける高度実践看護師の役割	塚本
2	消化器症状を持つ患者の病態生理	【講義】 1) 基礎的な消化器の病態生理 2) 消化器疾患（便秘、下痢、胃・十二指腸潰瘍、肝硬変、肝炎、急性胃炎、胆石症、など）のアセスメント及びマネジメント	塚本
3	婦人科の症状を持つ患者の病態生理	【講義】 1) 基礎的な婦人科関連臓器の病態生理 2) 婦人科疾患（更年期障害、帯下など）のアセスメント及びマネジメント	小嶋
4 5	心臓血管系の疾患を持つ患者の病態生理	【講義】 1) 基礎的な心臓血管系の病態生理 2) 心臓血管系疾患（急性心筋梗塞・狭心症・高血圧・不整脈など）のアセスメント及びマネジメント	小嶋
6 7	呼吸器系の疾患を持つ患者の病態生理	【講義】 1) 基礎的な呼吸器系の病態生理 2) 呼吸器系疾患（上気道・下気道炎、肺炎、慢性閉塞性肺疾患、喘息など）のアセスメント及びマネジメント	網島 優（特別講師） 塚本
8	皮膚疾患を持つ患者の病態生理	【講義】 1) 基礎的な皮膚の病態生理	塚本

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		2) 皮膚疾患 (発疹、湿疹・皮膚炎、蕁麻疹、白癬など) のアセスメント及びマネジメント	
9	泌尿器系の疾患を持つ患者の病態生理	【Web-Learning】(60分) 1) 映像コンテンツ視聴: 基礎的な泌尿器系の病態生理 2) 映像コンテンツ視聴: 泌尿器系疾患 (尿路感染症、前立腺肥大症、CKDなど) のアセスメント及びマネジメント 上記の内容に関するPost-Test (30分)	塚本
10) 11	内分泌系の疾患を持つ患者の病態生理	【講義】 1) 基礎的な内分泌系の病態生理 2) 内分泌系疾患 (高脂血症、高尿酸血症、甲状腺機能異常症、糖尿病など) のアセスメント及びマネジメント	辻 昌宏 (特別講師) 塚本
12	血液・造血器系の疾患を持つ患者の病態生理	【講義】 1) 基礎的な血液・造血器系の病態生理 2) 血液・造血器系疾患 (貧血、血液凝固系疾患など) のアセスメント及びマネジメント	小嶋
13	筋・骨格系及び神経系疾患を持つ患者の病態生理	【Web-Learning】(60分) 1) 基礎的な神経系疾患の病態生理 2) 神経系疾患 (脳血管障害、パーキンソン病、認知症など) 及び運動器疾患のアセスメント及びマネジメント 上記の内容に関するPost-Test (30分)	塚本
14	精神疾患を持つ患者の病態生理	【講義】 1) 基礎的な精神疾患の病態生理 2) 精神疾患 (躁鬱病、不安障害など) のアセスメント及びマネジメント	小嶋
15	免疫・アレルギー性疾患を持つ患者の病態生理	【講義】 1) 基礎的な免疫系の病態生理 2) 免疫・アレルギー (膠原病、アレルギー性皮膚炎など) のアセスメント及びマネジメント	塚本

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

筆記試験100%

【教科書】

Buttaravoli, P. (著), 齊藤裕之(編), 大滝純司(翻訳), (2009). マイナーエマージェンシー, 医歯薬出版

【参考書】

東田 俊彦 (著) Dr. 東田の今さら聞けない病態生理 (上巻) ケアネットDVD
東田 俊彦 (著) Dr. 東田の今さら聞けない病態生理 (下巻) ケアネットDVD

【学修の準備】

それぞれの授業の前に、該当するテキスト箇所を熟読しておくこと

【学修方法】

授業形態は、講義 (基礎的な病態生理) 及び事例 (事例検討) を用いた演習形式とし、効果的に学習が進められるように事前課題を設定する。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。